

矢作川流域圏懇談会通信

H29 流域連携 vol. 2



発行日：平成 29 年 9 月

編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆2017 矢作川感謝祭に参加しました！

矢作川感謝祭は、2014 年、それまで別々に実施されていた「矢作川天然鮎感謝祭」と「矢作川さかな釣り大会」の同時開催で誕生しました。その後、昨年度までは豊田市民を対象とする川の関係者が主導するイベントでしたが、今年度は農業、林業といった山の関係者も加わり、矢作川流域を強く意識したイベントに生まれ変わりました。山からは、根羽村森林組合による木づかい推進、豊田森林組合による高性能林業機械の実演と薪割り体験、岡崎森林組合 岡森フォレストーズによるコンサートで場を盛り上げました。また、矢作川流域圏懇談会としては、パネル等による活動の紹介を行いました。

日 時：H29 年 9 月 2 日（土） 11:00～16:00

場 所：豊田市千石公園（豊田大橋下）

参加人数：20 名（事務局を含む）



◆イベントの目的と内容および矢作川流域圏懇談会の参加について

1. イベントの目的と内容（矢作川感謝祭 HP より）



■矢作川感謝祭の目的

矢作川は本川だけで7つのダムを持ち、都市住民の生活、農業、工業などに徹底使用された過酷な環境の川である。しかし、矢作川は流域の人々の生活を支え、うるおいや安らぎを与えるとともに、アユやウナギなどの回遊魚をはじめ多くの生き物を育てている。流域での人々の暮らしや生き物の生命を根底で支えている命の水の循環は、森、川、海にあります。

委員会は、矢作川流域の課題を今一度再認識するとともに、矢作川流域の自然の恩恵にあらためて感謝し、その実力と魅力を多くの人々に伝え、共感と行動へとつながることを目的とする。

■主なイベント内容

- ◇さかな釣り大会、川あそび大会、アユ釣り大会
- ◇岡森フォレストーズ オープニングコンサート・水辺コンサート
- ◇チェーンソー・高性能林業機械による実演
- ◇うたれん 水辺コンサート

ほか



2. 矢作川流域圏懇談会 出展状況



流域の一体化を目的に、以下の内容で参加しました。

■根羽村森林組合

～動く木のおもちゃの展示（プレイスメイキング）～

上流の村から、「見て・触れて・感じて・楽しむ」移動大型遊具を設置しました！

■豊田森林組合

～高性能林業機械の展示・薪割り体験～

チェーンソーによる薪割り体験、プロセッサ（高性能林業機械）による枝払い・玉切りの実演を行いました！

■岡森フォレストーズ

～岡崎森林組合職員で結成されたバンド、本イベントの盛り上げ役～

キャッチフレーズは、「岡森フォレストーズの音楽は、山で強く伸びる松、まっすぐ育つ杉、愉しく暮らすカメムシだ！」



3. 矢作川感謝祭の開催風景



鮎釣り大会の様子



魚釣り大会の様子



矢作川下りのパチンコ



流域の名物の出店



薪割り体験



矢作川流域圏懇談会展示

【矢作川感謝祭を通じて感じた事】

◆よかったと思うこと

- ・豊田市の団体が中心となったイベントではありますが、流域を含めた矢作川の感謝祭という膨らみを感じた。
- ・動く木のおもちゃが小さい子どもに大人気だったこと。近くにいるだけで、子どもたちに声を掛けられた。
- ・子どもが釣りに興味を示し、楽しそうだった。
- ・薪割り体験に参加する女性の多さに驚いた。

◆改善してほしいこと

- ・矢作川流域圏懇談会のブースをもう少しメイン会場に近づけた方が良いと思う。
- ・森林組合の出展が炎天下であり、見物客が暑い思いをした。橋に近い場所で行うことで熱中症の予防になるのではないか。
- ・水際までの導線が急だったため、もう少し緩い傾斜にすると子どもたちにとって安全だと感じた。

◆今後に向けた進め方の提案

- ・今年度は従来の川部会の関係者に山部会が加わったが、海部会の関係者も加わればさらに盛大になると思うので、次年度に期待したい。
- ・各ブースでPRタイムがあると、興味を持ってもらえるのではないか。
- ・矢作川流域圏懇談会の各部会として、成果をパネルにして説明できるとよい。特に、山間部～河口部での取り組みを情報共有することは、本イベントの目指すところだと思う。
- ・この時期は暑いので、散水ができると良い。

◆その他（質問・感想など）

- ・今年度は流域連携として大きな一歩を踏み出したと思う。急がなくても良いので、毎年少しずつ進化することが望まれる。

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 松山、係長 服部
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト (yahagigawa@ijnet.or.jp) までお送りください。